

たものを検討していきたいと考えています。

**Q わくわく茨城生活実現事業移住支援金とは。**

**A** 茨城県が主体となって取り組んでいる移住政策の一環です。東京圏から茨城県の市町村に移住目的で転入された方に支援金として1世帯あたり100万円を支給する事業となっています。さまざまな条件があり、県がマッチングした中小企業に就業することが条件の一つとなっています。

**Q 五霞町をアピールしていく中で、現在あるものの中でPRできないか検討いただきたい。**

**A** 現在、フィルムコミッションに五霞町でも力を入れており、県の協議会に加盟し、県と五霞町のホームページにロケ候補地を掲載しています。五霞町に現在ある資源の中でPRをしながら情報発信に努めていきたいと考えています。



**Q ふるさと応援寄附金の返礼品として県の特産品を町で扱えないか。**

**A** JA全農いばらきの協力のもと、常陸牛をラインナップとして掲載できる準備を進めています。

**Q 新エネルギー等普及促進**

**事業とは。**

**A** 太陽光発電で作られたエネルギーを充電・蓄電するシステムを設置する場合、1件あたり5万円を補助する事業です。

**Q 害獣の駆除に関する予算措置はあるのか。**

**A** 町では、現在、有害鳥獣駆除事業として貸し出し用の捕獲箱を6つ準備していますが、新たに2つを購入する予算を計上しています。



**Q 出産おめでとう祝い金事業とは。**

**A** 新生児の祝い金として5万円、入学祝い金として3万円を補助する事業です。以前は第3子就学祝金ということで10万円を給付していましたが、より広く交付するため本事業を始めました。

**Q 小・中学校就学援助費の受給資格はどうなっているか。**

**A** 町民税が非課税又は減額されている方、個人の事業税、固定資産税及び国民年金の掛け金が免除されている方、国民健康保険税の減免又は徴収猶予を受けている方、児童扶養手当の受給を受けている方、生活福祉資金貸付制度による貸付を受けている方などが該当します。

**Q 中学校での部活動について地域移行は検討しているのか。**

**A** 令和4年度に専門部会を

立ち上げて、地域移行できるよう検討を行っています。



**Q 町内における小麦への転作状況について**

**A** ある程度の安定した収入が確保できるとのことで小麦に転換している方が多く見られます。

**Q 多面的機能支払交付金とは。**

**A** 資源保全協議会が農地の保全を目的として大排水路の除草や道路を横断している排水路が詰まっていた場合や新たに排水路の浚渫<sup>しゅんせつ</sup>などを実施するために補助金を支出する事業となっています。

**Q 農業塾への参加状況は。**

**A** 令和3年度実績で25名の参加。年齢構成については定年退職をされた60歳以上の方が多くいらっしゃいます。

**Q 稲作におけるカメムシ防除に対する補助は。**

**A** 水稻作付面積10アールあたり1,000円の補助を実施しています。今後も継続していきたいと考えています。

**Q 公共下水道の施設能力は。**

**A** 日量3,400トンの処理能力があります。処理状況については年間最大値で4,270トン、最小で1,280トンとなっており、日平均1,836トンとなっています。